

報告日 令和7年6月15日

報告回次 1日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	武豊町			代表者名	鳥羽 悠史
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画部企画政策課	連絡先電話番号	0569-72-1111
担当者役職	副主幹	担当者氏名	井筒 健太	連絡先E-mail	
住所	470-2392 愛知県武豊町字長尾山2番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	DX推進計画の策定		
概要	令和7年度中に策定するDX推進計画の内容や推進体制等について、外部アドバイザーから内部職員のみでは気付きにくい客観的・専門的な目線からの意見を踏まえたものとしたい。あわせてDX推進担当の意識醸成を図り、計画が実行できる体制としたい。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 計画策定支援				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年6月13日	支援・助言(オンライン)	15時00分	16時30分	
				活動時間（分）	90

2-2.

会場名	オンライン	最寄駅	オンライン
派遣場所	所在地	最寄駅からの交通手段	オンライン

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	上村 州史
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	本町のDX推進計画案に対し、外部の視点から意見を述べて頂いた。特にDX推進計画に含まれるアクションプランについて、行革プランと重なる項目に関する進捗管理の方法や数値目標に関する意見を頂けたことで、より鮮明なものになったと感じている。
アドバイザーへの要望事項	今回のアドバイスを参考にDX推進委員への説明を行うため、ご臨席賜りたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	4人
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	4			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	DX推進計画を策定するにあたり、庁内全体においてDXへの理解や意識が十分に醸成されておらず、全庁を巻き込んだ計画の推進ができないという懸念がある。また計画に記載する体制整備や取組内容について、実際に運用が可能か不安がある。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	DX推進計画案に対し、外部の専門的視点から内容、体制、進め方について助言をいただきたい。助言をもとに修正したDX推進計画案を庁内各課へ展開する。その際にDX推進計画への意見出しや各課の調整を行うDX推進委員（20名予定）に対し、DX推進計画を踏まえたDX研修を行っていただきたい。その後、現場の意見を反映したうえで最終案を作成し、改めてアドバイザーにフォローアップいただき、より実効性の高い計画へと仕上げたい。

アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	DX推進計画案の内容をオンラインで確認して頂き、外部の専門的視点から内容、体制、進め方について助言や、個別に課題と感じている内容についてアドバイスを頂いた。具体的には、DX推進計画に含まれるアクションプランについて、行革プランと重なる項目に関する進捗管理の方法や、数値目標の掲載要否、その他計画の内容について不足や修正すべき箇所を確認頂いた。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	パブリックコメントを実施すべきであること、数値目標は計画ではなくアクションプランに掲載する方針となり、この課題が解決された。またアクションプランを行革と住み分けるにあたり、行革側の取り組み事項にDX案件であることを示すようにし、それらの事項と行改プランに未記載の事項をアクションプランで主導権をもちつつ管理すべきであるとアドバイスをいただいたので、その方針で行革担当と調整することで意見がまとまった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 最終的な成果物であるDX推進計画の案がまとまったため、職員への説明や意見を取り入れて策定まで進めていきたい。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）	予定通り、DX推進委員の意識醸成については2回目支援で取り組むこととなった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	今回の支援は助言のみであるため、アンケートは実施していない。	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	DX推進計画案の内容を踏まえ、職員にDX研修を実施する。その後職員からの意見を反映したDX推進計画を策定する。	
4－4. 事業の最終的な目指す姿	DX推進計画の期間は令和8年4月～令和13年3月としており、その期間中に職員にDXの意識と取組が定着することで、効率的な行政運営と住民満足度の向上を実現し、地域全体の幸福につなげることを目指す。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	☐ 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他＞を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

